

ケアマネジメントサポートネットワーク富山について

ケアマネジメントサポートネットワーク富山
2022年度幹事 塚本 聡
(富山総合福祉研究所)

ケアマネジメントサポートネットワーク富山は、「感染症拡大や自然災害などがあっても地域のケアマネジメントシステムに綻びが生じないようケアマネジメントの当事者が平素からおたがいに助け合う関係づくりとしくみづくりを行う」ことを目的として富山県内外の居宅介護支援事業者が基本協定を締結し、2022年4月1日から活動を開始しました。具体的な活動内容は以下のとおりです。

- (1) 給付管理に支障のないトラブルなどへの軽微なおぎない
- (2) 給付管理に支障のあるトラブルなどへの担当の一時交代を伴う助け合い
- (3) 広域災害支援
- (4) 知恵の共有（ピア・スーパービジョンなど）
- (5) その他ケアマネジメントのピア・サポートに資する活動

2019年末からの新型コロナウイルス感染症の世界的大流行（パンデミック）をはじめとして、地球規模の気候変動や地震活動などにより甚大な自然災害が頻繁に発生するようになってきました。これに加え、国際関係の悪化などによる物流の停滞など人為的な理由による社会構造の揺らぎも生じ始めています。このような不安定な社会状況下にあっても地域のケアマネジメントシステムを守り抜くしくみ作りを早急に行う必要があります。支えとなる仕組みは、地理的に広範であればあるほど、網の目が細かければ細かいほど力を増します。上の危機意識を共有し志を同じくするみなさまにおかれましては、本協定へのご参加とご協力を是非ともご検討くださいますようお願いいたします。

(2022.04.01.)

付記

協定への加入を希望される事業者様にはオンラインでの説明の機会を定期的に設けております。直近の日程は当ネットワークのホームページでご確認ください。